

開会御挨拶

角田 秀穂（農林水産大臣政務官）

本日は、令和5年度「野菜の日」Web シンポジウムに御参加いただき誠にありがとうございます。

8月31日は、「野菜の日」となっております。これは今から40年前の1983年に、野菜の関係者の皆様が野菜の良さを知ってもらおうということで制定されました。本年は2023年ですので、40周年の記念すべき年となっております。

皆様御存知のとおり、野菜は健康のためにも重要な食品であり、国民の健康の指針となる「健康日本21（第二次）」では、20歳以上で1日当たり350g以上を食べることが推奨されています。しかしながら、現在の平均摂取量は280g程度にとどまっております。より一層、消費者の皆様手に取っていただけるような取組が必要と考えています。

また、本年は「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されてから10周年を迎える年にも当たっております。

このことも踏まえ、本年のシンポジウムでは、和食の一つである「漬物」に注目し、「漬物」から野菜の消費拡大を考える」と題して、

- ① 最新データに基づいた漬物の特徴等について基調講演をいただくとともに、
- ② 時代にマッチした漬物の生産や、
- ③ 食生活の中での新たな取り入れ方等について、

各方面の専門家の方々からお話しをいただき、理解を深めていただきたいと考えています。

本日は、たくさんの方に御視聴いただいております。

本シンポジウムが、改めて漬物の良さを知るきっかけとなり、ひいては野菜摂取量の増加につながることを御期待申し上げるとともに、講演者の皆様、また、視聴いただいている皆様方にとって有意義なものとなることを祈念して、私からの御挨拶とさせていただきます。

令和5年8月31日

農林水産大臣政務官 角田 秀穂